

6

大学ポコ



清見潟ニュース

清見潟大学塾事務局

〒424-0817 静岡市清水区銀座 9-11

TEL: 054-367-3588 / FAX: 054-367-3599

URL: <https://www.kiyomigata.sakura.ne.jp>Mail: kiyomigata@cy.tnc.ne.jp

生涯学習交流館使用の基準

「静岡市生涯学習施設条例」第7条により交流館で次の行為はできません

- ・営利事業 ・政治活動 ・宗教活動 ・公の秩序又は善良の風俗を害する行為
- ・管理上支障があるとき

交流館を利用するルール

- 1 利用時間を守る。(利用が認められている時間内で学習を終了する)
 - (1) 部屋の鍵の貸し出しは、午前8:45以降、午後12:45以降、夜間17:45以降
 - (2) 終了時間は、鍵を窓口に返却する時間です。
- 2 開館時には、設置してある体温測定器で体温チェックをする。
- 3 『来た時よりも美しく』
 - (1) 利用後の片付け・清掃を講師・当番は、責任を持って行う。
 - (2) 机、いすの整頓…机は床の定位置に。いすはしっかり奥まで入れる。
 - (3) ホワイトボード、黒板、各部屋の案内板をきれいに消す。
 - (4) 忘れ物、戸締り、換気扇、カーテン、冷暖房、消灯のチェック。
 - (5) 使用した備品などは所定の場所に戻す。
 - (6) ゴミは必ず持ち帰る。
- 4 次回使用する器具がある場合は、事前に交流館職員に連絡し許可を得る。
- 5 冷暖房中は窓、ドアを開けたままにしない。(冷房28℃、暖房18℃)
ただし感染症対策として、1時間に2回程度、窓を開け喚起を行う。
- 6 管内での飲食は原則禁止。
- 7 交流館内及び敷地内はすべて禁煙。
- 8 講座日、部屋、利用時間の変更は原則できません。
- 9 交流館の駐車場には限りがあります。
公共交通機関を利用するか、乗り合わせて行くようにしてください。
- 10 他の利用者や交流館職員に迷惑のかかるような行為は慎んでください。
- 11 その他、不明な点は交流館に確認してください。

※作品展、発表会等で施設を利用する場合は、施設の規則に従ってください。

ルールを守ろう

清見潟大学塾は学習交流館を借りて活動しています。交流館のルールを守りましょう。



おじやまします

最近大人気のウクレレ。今回は数
崎講師のウクレレ教室にお邪魔し
ました。

Q 今、ウクレレは大ブームです
ね。

A コロナ禍、ホームステイで火が
つき、ブームとなりました。

小さく手軽さが受けています。

Q ハワイアンばかりだと飽きち
やいませんか。

ひと月ぶりですね。覚えてますか？！



声を出しましょう！



誰か外れてるわよ

A ウクレレは確かにハワイアン
のイメージが強いけど、ポップスや
ジャズ、ロックなど幅広い音楽の演奏
ができる楽器なんですよ。
もともとは千八百年代にポルトガ
ルの移民がハワイに持ち込んだ「ブ
ラギーニャ」という民族楽器が原型
になったと言われています。

ウクレレの名前の由来は、ハワイで
暮らしていたイギリス人の演奏する
姿が、ノミが飛び跳ねているように見
えたからだそうです。ハワイ語で「ウ
ク」は「ノミ」「レレ」は「飛び跳ねる」
という意味です。

今は便利でユーチューブを見なが
ら弾く方が多いと訊いています。年齢
に関係なく楽しまれている様です。



指ばかり見ちゃう



みんな同じ



きまった！

裾野が広がって将来が楽しみです
が、壁にぶつかるみたいです。ウクレ
レはリズム楽器ですから、リズムが重
要になります。独学で勉強しています
と自分流のくせがついてしまうので、
出来るなら教室に通い、基礎を勉強さ
れるといいと思います。

もちろん基礎は大切ですが、出来る
なら仲間と一緒に弾きながら唄い、楽
しさを味わってほしいと思います。

学生時代独学でギターを鳴らしてい
た私にとって、最後は耳の痛い話です。
明るく楽しい教室でした。

- ・ エンジョイウクレレ教室 I
- ・ 第一・三（金） 十三時～
- ・ エンジョイウクレレ教室 II
- ・ 第一・三（金） 十五時～
- ・ 辻生涯学習交流館
- ・ 講師 数崎晴美



よそ見しないで話を聴いて



スパゲティ、スープ、ゼリーですよ

は、
三十九回度から「こども料理教室」
は、豊川講師が担当されます。

初めまして



アラッ、消えちゃった!!



ちゃんと持っててよ



すごくおいしい!



やっぱりピーマンは苦手なんだね・・・



感想なんて書く??



おうちでも作ってね

・こども料理教室Ⅰ
・第三(土) 九時半〜
・江尻生涯学習交流館
・講師 豊川陽子

展示会のお知らせ

個展 太田静苑の今

併催 第八回千草書院展

日時 令和五年七月七日（金）

七月九日（日）

午前十時～午後五時

（九日は午後三時まで）

会場 マリナートギャラリー

本塾の講師であり、後援企業千草書院の代表でもあります太田静苑講師が、十一年振りの大型書道展を開催します。

清見潟塾生三講座の有志も参加していますので、是非会場へお出かけください。

募金ありがとうございます

・筆のたのしみ

・書道「蓬会」

・入門「実用書道」

講師 太田静苑

・里山歩きを楽しもうII

講師 小嶋博

清見潟川柳

・孫が来る

掃除ごちそう お小遣い

・孫が来た

お話よりも ゲームがいい

・もう帰る？

心の奥では もういいよ

（ペンネーム 嫁苦手）

皆様の投稿をお待ちしています。

事務局からのお知らせ

幹事会を開催します。各講座の幹事は出席をお願いします。

なお代理の方が出席する場合は、早めに事務局までご連絡ください。

日時 六月二十五日（日） 十時～

会場 区役所三階ふれあいホール

内容 監査報告・交流館使用時の

注意事項他

月の佐幕にシシが出た

ある作家のところへ雑誌社の新入女子社員から執筆内容の確認の電話があった。「主役は勤王の志士だよ」「キンノーノシシってどんなシシですか」「弱ったな。勤王佐幕って知っ

てるかい」「月の砂漠なら知ってますけど」。作り話ではない。本当にあった話だ。

私が銀行の人事担当だったころ、入行試験に《次のことにつき知ることを記せ》と題して「大国主命」を出したことがある。答えに曰く「ダイコクセイメイ。わが国五大生命保険会社の一つ」。これだから試験官はやめられない。最近、年配の落語家が頭を抱え込んでいた。「旦那と言っても何のことか分からない手合いが増えて仕方がねえから社長にしたら、若旦那が副社長に昇格、ずっこけてもいられねえ。三軒長屋は三戸建て簡易アパート。ご隠居さんは年金生活者。太鼓持ちはドラム運搬者。与太郎は木久蔵が私みたいな人間、と言ったのでそれなりに理解してくれたが、話が通じねえんだ」そうだ。

もつとも遊郭や花魁の話など、話す方が知らないのだからしょうがねえ。廊遊びの体験者はほとんど死んでしまつて古典落語は伝承文化になつても話に耳に入らない。落語はもはや衰退の芸である。落語の隠語もほとんど通じない。さみしい限りである。

そこへいくと漫才の方は、現実と虚構のはざまの中でトントンと会話

が飛躍し、突っ込みのスピード感とボケの間合いの溝が巧みに絡み合つてけっこう面白く楽しめる。ネタも現代的で時代のズレがない。

月の砂漠で思い出したが、月の砂漠を歩くラクダはいない。歩くのは昼間だけだ。知床旅情の『白夜は開ける』も非現実的だ。昔は「経験は知識」であつたが、今は「知識が経験」の時代だ。パソコンを眺めながら、いい時に定年を迎えたものだと思いを下ろす。我々の貴重な経験が時代遅れのドブに落ちた。

勤王の志士も明治になり同じ苦勞をしたと推察する。

『不良老人のすすめ』より抜粋

著者 故大石正路（第二代塾長）

